

# JFEシビル 立体駐車場建設 那覇空港でも受注

JFEシビル(社長・藤井善英氏)はこのほど、沖縄・那覇空港の新立体駐車場(仮称)建設工事を受注した。価格面のみならずプランニングや施工計画などが評価され受注に至った。同社では成田国際空港でも立体駐車場の新築工事など大型案件を相次いで受注しており、立体駐車場建設における実績を積み重ね信頼感を高めている。

沖縄で受注した立体駐車場は5層6段で1226台を収容できる。外壁は押出成形セメント板で延床面積は2万9610平方メートル。施工は那覇空港ビルデ

イングで大城組から受注した。総合評価方式によるメーカー選定の3社による競争入札が行われたが、車両重量2・5ト対応の提案が

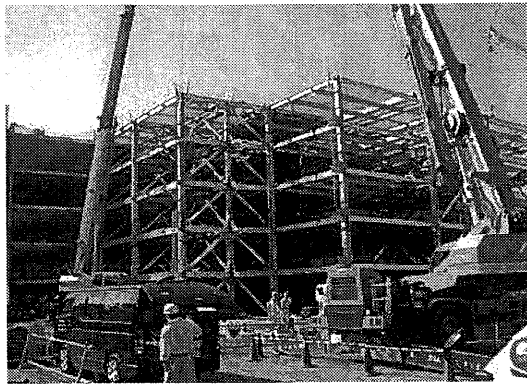
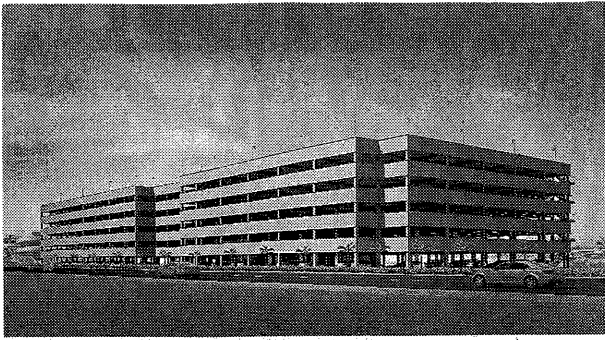
1期目は今年12月末に完了する予定。1棟目を施工しながら2棟目を施工し、来年9月末の完成を見込む。一方、成田国際空港

去2件の実績がある成田国際空港から6年ぶりに立体駐車場新築計画の公募があり、ゼネ

コン・メーカー4社参加の競争入札により元請けとして受注した。5層6段で650台を収容可能。延床面積は1万7千平方メートルで今

年9月のオープンに向けて工事は順調に進んでいる。

た。工期は2期に分かれ、(千葉県成田市)は過



那覇空港の立体駐車場の完成図(上)と成田空港の鉄骨工事